

プラスチックごみ一括回収 モデル事業の進捗について

令和7年2月
環境部 廃棄物減量推進課

令和5年度までの振り返り

- ・令和4年4月 プラスチック資源循環促進法施行
プラスチック使用製品廃棄物の分別収集や再商品化に努めるものとされた
- ・令和5年8月～ 市民会議によるプラスチックごみ分別案の検討
「単一プラスチック素材であるもの かつ 40cm未満の大きさのもの」
- ・令和5年12月 大津市廃棄物減量等推進審議会
プラスチックごみ一括回収モデル事業案提示

1. モデル事業の目的と概要

(1) 目的

プラスチックごみ一括回収時における収集量の変化や種類、異物混入等を把握・予測するため

(2) 概要

対象地域 真野北学区、滋賀学区、瀬田学区の一部の自治会区域
(1学区につき、100～200世帯程度)

期 間 令和6年10～12月

調査内容 ごみの量と組成、再商品化に伴う環境負荷、住民意見

プラスチックごみ一括回収の対象

プラスチック製容器包装



プラスチック製品

プラスチック製品にはプラマークはありません



1. モデル事業の目的と概要

(3) スケジュール

令和6年					令和7年		
8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
説明・チラシ配布■-----■ 現行の分別方法による収集■-----■ プラスチックごみ一括回収■-----■ プラスチックごみ組成調査■ アンケート配布■ アンケート調査■----■ アンケート調査まとめ□---□ 報告書まとめ□-----□ 凡例：■ 実施済 □ 実施中／予定							

1. モデル事業の目的と概要

(4) 配布物

大津市からのお知らせ

プラスチックごみの分別収集（実証実験）を行います

令和6年9月3日作成

ブラごみの日（実証実験）の目的

プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律が施行され、市町村がプラスチック使用製品廃棄物分別収集や再商品化に努めるものとされています。市では、さらなるごみの資源化について検討するため、普段と異なる分別方法（プラスチックごみ）による収集（実証実験）を行います。実験期間中に限った分別収集です。是非、ご協力ください。

ブラごみの日（実証実験）を実施する期間 令和6年10月～12月

真野北学区の「ブラごみの日」の収集日（10月から12月までの毎週木曜日）

10月 3日、10日、17日、24日、31日
11月 7日、14日、21日、28日
12月 5日、12日、19日、26日

対象世帯

自治会様の地域内にあるごみ集積所にごみを出される世帯を対象としてご協力をお願いしています。
なお、実証実験は、市内の北部地域と中部地域と南部地域の3か所で行います。

期間中のプラスチックごみの出し方

10月 ⇒ 普段どおりの出し方（プラスチック製容器包装[㊦]のみ）
11月、12月 ⇒ 実証実験の出し方（プラスチック製容器包装[㊦] + すべてプラスチックでできたものを一袋にまとめて）

実証実験についてのQ&A

Q1. モデル事業で集めたブラごみはどうするの？

A1. 実証実験期間中の回収量が、普段に比べて、どの程度増えるのか、容器包装以外のブラごみにはどんなものが出されるのか、大きさや重さの変化について、分析します。
収集されたブラごみは適正に処理いたします。

Q2. 10月は今までの出し方で良いの？

A2. 比較のため、10月は普段どおり、プラスチック製容器包装[㊦]のみ分別して出してください。

Q3. 実施期間中のごみは誰が収集するの？

A3. 「ブラごみ」のみ大津市の職員が収集します。その他のごみは普段と同じごみ収集業者が収集します。

Q4. 参加した自治会名は公表されるの？

A4. 公表いたしません。

Q5. モデル事業が終了した後の出し方はどうなるの？

A5. 来年1月からは、元通り「プラスチック製容器包装[㊦]」のみを分別して出してください。

Q6. 「実証実験中の分別方法」はどうなるの？

A6. プラスチックだけでできたもので、長さ、幅ともに40cm未満で、汚れや臭いのないものを指定ごみ袋に入れて出してください。

実証実験中のブラごみの出し方（ポイント）

すべてプラスチックでできたもの 40cm未満 汚れ・臭いのない

ブラマーク[㊦]の有無は気にしないでください。

裏面の例も参考にしてください。

Q7. 汚れ・臭いのある、金属の混じったプラスチックごみはどうするの？

A7. 燃やせるごみの日に出してください。

Q8. ブラごみを溜めておいた方が良いの？

A8. あえて溜めることはせずに、捨てようと思ったタイミングで出してください。

お問い合わせ先

大津市環境部廃棄物減量推進課 3R推進係 077-528-2802

図1-1 配布チラシ(表)

1. モデル事業の目的と概要

(4) 配布物

必ずお願いしたいこと

- 1 令和6年11月、12月の「プラごみの日」に「すべてプラスチックでできたもの」を分別して出してください。
- 2 令和6年12月末ごろに「プラごみの分別収集（実証実験）」に関するアンケートへの記入にご協力をお願いします。

普段の出し方（10月） プラスチック製容器包装



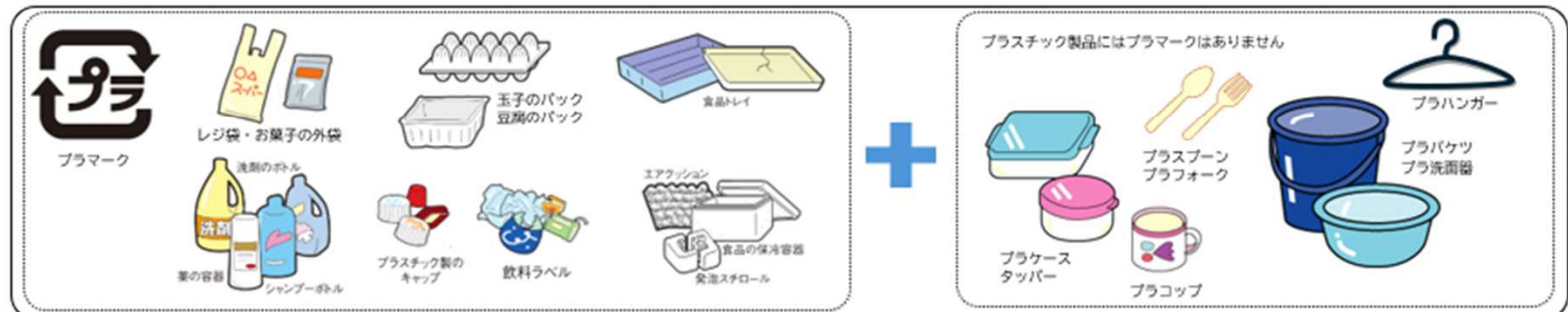
「汚れ、臭いのない」の分別方法について

今までは、「きれいで臭いのないもの」を「軽くすすいで落ちる」程度と説明してきましたが、分かりにくいのご意見がありました。

実証実験の出し方では、「洗わなくてもきれいで臭いのない」ものを「プラの日」に出してください。

実証実験での出し方（11月、12月） プラスチック製容器包装 + プラスチック製品

→①すべてプラスチックでできたもの かつ ②40cm未満 かつ ③汚れ・臭いのない ものを「プラごみの日」に指定ごみ袋にまとめて出してください。



※以下のものは分別排出の対象とはなりませんので、特にご注意ください

- ・プラスチック以外のものが混じってできた製品（充電電池、モバイルバッテリー、電動歯ブラシ本体、リモコン、電気カミソリ、電卓、はさみ、100円ライター、電池やぜんまい等で動くおもちゃなど）
- ・長さ又は幅が40cm以上のもの
- ・ペットボトルは「ペットボトルの日」に出してください。

図1-2 配布チラシ(裏)

イラストの出力：経済産業省ホームページ

2. 収集結果

令和6年10月、11月、12月、3地域596世帯を対象に収集を実施した。
プラスチック製容器包装のみの収集を行った10月は、1世帯あたりの重さが
255.03g、11月、12月の一括回収では322.99gとなり、27%増となった。

表2 モデル事業対象地域の収集量

容器包装のみ

収集日	10月3日	10月10日	10月17日	10月24日	10月31日	10月計
収集量(Kg)	120	200	130	160	150	760
1世帯あたりの収集量(g/世帯)	201.34	335.57	218.12	268.46	251.68	255.03

容器包装+製品

収集日	11月7日	11月14日	11月21日	11月28日	—	11月計	
収集量(Kg)	240	190	150	190	—	770	
1世帯あたりの収集量(g/世帯)	402.68	318.79	251.68	318.79	—	322.99	
収集日	12月5日	12月12日	12月19日	12月26日	—	12月計	11, 12月計
収集量(Kg)	160	180	200	230	—	770	1, 540
1世帯あたりの収集量(g/世帯)	268.46	302.01	335.57	385.91	—	322.99	322.99

※対象世帯：596世帯

※計量は、トラックスケールによる

※10月の分別方法：プラスチック製容器包装のみ

※11、12月の分別方法：プラスチック製容器包装+プラスチック製品

10月の一世帯あたり排出量の平均は、一回当たり255.03g …①

11、12月の一世帯あたり排出量の平均は、一回当たり322.99g …②

プラー括による重量の増加率は、②÷①×100=126.65



保管場所

3. 組成調査結果

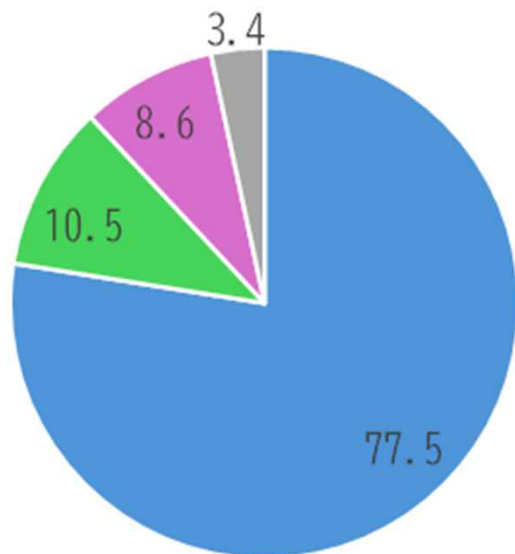
(1) 分類ごとの重量と容積

表3 分類ごとの重量と容積

基本分類1	基本分類2	分類No.	汚れの有無	風袋なし合計重量	合計容積	備考
プラ製容器包装	プラ製容器包装	100		73.022 kg	4,230 L	
	プラ製容器包装	360	汚れ	39.103 kg	1,975 L	
プラスチック製品 (100%プラ素材)	使い捨てプラ (ワンウェイプラ)	210		0.043 kg	1 L	
	使い捨てプラ (ワンウェイプラ)	360	汚れ	0.028 kg	0 L	容積ゼロ
	分厚いプラ (手で曲げられないもの)	220		0.000 kg	0 L	
	分厚いプラ (手で曲げられないもの)	360	汚れ	0.000 kg	0 L	
	上記以外のプラ製品	230		12.241 kg	255 L	
	上記以外のプラ製品	360	汚れ	2.831 kg	90 L	
	上記以外のプラ製品	360	汚れ	2.831 kg	90 L	
分別基準外	複合素材プラ：玩具 (電気・電池・ゼンマイ等で動くもの)	310		0.304 kg	3 L	
	複合素材：家電製品	320		0.020 kg	0 L	容積ゼロ
	複合素材：芯・金属バネ等が付いているもの	330		4.205 kg	109 L	アルミ蒸着容器包装
	上記以外の複合素材プラ	340		0.298 kg	30 L	阿蘭梨餅の包装など
	1辺が40cm以上のプラ	350		3.818 kg	97 L	
	汚れ・臭いがあるプラ	360		0.000 kg	0 L	
	ゴム製品	370		0.068 kg	1 L	
	燃やせるごみ	410		1.396 kg	55 L	
	燃やせないごみ	420		0.171 kg	4 L	
	紙ごみ (雑誌、段ボール)	430		0.456 kg	13 L	
	ペットボトル	440		1.646 kg	55 L	
	びん	450		0.000 kg	0 L	
	かん	460		0.049 kg	1 L	
	市の指定袋	600		4.860 kg	215 L	
合計：				144.558 kg	7,133.9 L	

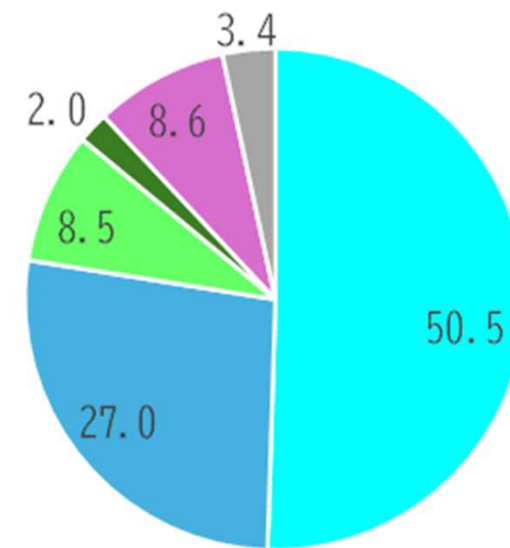
3. 組成調査結果

(2)重量割合



- (77.5%)プラスチック製容器包装
- (10.5%)プラスチック製品
- (8.6%)分別基準外
- (3.4%)指定ごみ袋

図3-1 重量割合(汚れ分類なし)

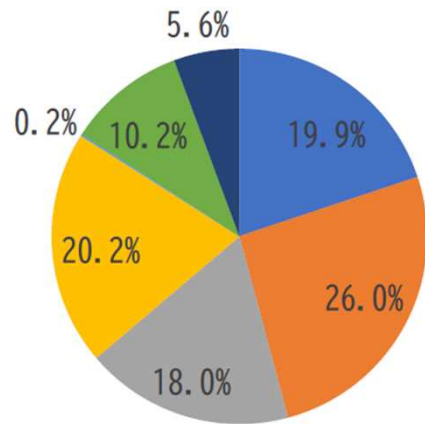


- (50.5%)きれいなプラスチック製容器包装
- (27.0%)汚れたプラスチック製容器包装
- (8.5%)きれいなプラスチック製品
- (2.0%)汚れたプラスチック製品
- (8.6%)分別基準外
- (3.4%)指定ごみ袋

図3-2 重量割合(汚れ分類あり)

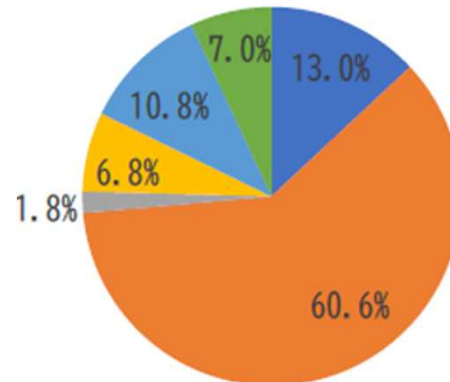
3. 組成調査結果

(3)素材別の割合(参考)



- (19.9%)PE
- (26.0%)PP
- (18.0%)PS
- (20.2%)PET
- (0.2%)PVC・PVDC
- (10.2%)その他(その他の材質・複合素材)
- (5.6%)アルミ蒸着(その他の材質・複合素材)

図3-3 素材別割合(容器包装)



- (13.0%)PE
- (60.6%)PP
- (1.8%)PS
- (6.8%)PET
- (10.8%)PVC・PVDC
- (7.0%)その他(その他の材質・複合素材)

図3-4 素材別割合(製品)

- PE ポリエチレン
(製品例 レジ袋)
- PP ポリプロピレン
(製品例 衣装ケース、ボトルキャップ)
- PS ポリスチレン
(製品例 発泡スチロール、食品トレー)
- PET ポリエチレンテレフタレート
(製品例 ペットボトル、タマゴパック)
- PVC ポリ塩化ビニル
(製品例 塩ビ管)
- PVDC ポリ塩化ビニリデン
(製品例 家庭用ラップ)

4. 今後の予定

- ①現容器包装再資源化施設での受入れ(対応)能力の検討
- ②収集運搬、再商品化に伴う財政負担の変化に対する検討
- ③CO₂等温室効果ガスの抑制効果に対する評価
- ④プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律の5年経過時の検討
規定に基づく制度改正の動向を見据えた、分別収集計画の見直しの可能性について検討

令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
☐ モデル事業 ☐ モデル事業に関する分析調査	☐ モデル事業の評価 ☐ 分別収集に伴う効果予測 ☐ 分別収集計画の見直しの可能性検討 ☐ 施設機能の評価	☐ 再商品化事業計画の策定の可能性検討 ☐ 再資源化施設に関する対策	☐ プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律の5年経過時の検討時期